

西新宿駅ロータリーに、空きスペースを見つけたとき、今日はツイてる、と俺おれは思った。このあたり一帯に路上駐車をする連中は、ときには一時間以上もかけて空きスペースを探して走りまわることがある。特にそれが夕方の六時台となればなおさらだ。

東新宿駅との境いには大きな無料地下駐車場があるのだが、今どきそこを利用する奴やつは西側の住人にはほとんどいない。

西側の人間の車はすぐにわかる。まして地下だ。止めておいて、十五分もしないうちに、車の姿は消えている。もちろん、車をかっぱらわれない場合もある。そのときはタイヤ、エンジン、カーコンポをそっくりいかれた上に、あたりの連中が暇つぶしにボディをボコス力蹴ける、といった具合いだ。

買って一週間、新品ぴかぴかの車が、三十分もあればクズ鉄屋が手数料を欲しがるほどのボンコツに化ける。

それでも車一台ですめばいい。地下駐車場は人間も食う。身ぐるみいっさいはがれた上に、女ならもちろん、使える穴という穴はすべて犯される。男なら——襲った奴がオカマに興味がなけりゃ、よくて殺され、悪ければ半殺しだ。半殺しの方がせつないのは、残りの一生を永久に病院のベッドからでられなくされるに決まっているからだ。

俺の知っていたカラテ二段の印刷屋がそこでやられた。

地下駐車場が人を食うのはいつもと限っちゃいない。その男も空きスペース探しにうんざりきて、地下駐車場を使ったのだ。

三回、四回、奴は無事だった。五回めに、ガキ共に囲まれ、ひとりの鼻柱を蹴りおって、意気ようようとひきあげてきた。

ところが六回め、やられた。やったのはたぶん、鼻を折られたガキの仲間だろう。そいつは殺してもらえなかった。背骨を粉々になるまでバットで碎かれたあげく、腎臓しんぞうをミンチになるまで蹴られつづけた。

車もそいつの体も保険はおりた。だが保険では、背骨のスペアも腎臓も買えない。

俺は完全な西側の住人じゃないが、やはり地下駐車場はめったに使わない。

俺の車は、誰が見ても手をだしたくならないような、特注のメルセデスだ。窓もボディもまっ黒だし、エンブレムとホイールに金色を使っている。

カキ傷いっこで手首から先を切断される——東側の連中ならそう思うような車だ。車泥棒を警へい察は永久につかまえられない。だがエイリアンマフィアは、あつというまにつかまえる。エイリアンマフィアに、裁判はない。容疑イコール有罪、そして処刑だ。手ぎわのよさは、ベトナム系だろうとチャイニーズ系だろうと、イスラム系だろうとかわらない。

だから俺はわざとそういう車を選んだ。前の所有者は、ベトナム系の金貸おしなしで、東側に住んでいたのだが、ベトナム系の組に上納金を払うのをしぶって撃ちころされた。撃ちこ

ろしたのは、その男のボディガードだった。殺された金貸しも、元は組員だったくせに、金がたまって、きれいな顔をしたがったのだ。

組織とはかわりない、カタギの実業家って奴だ。

元組員が成功してそういう顔をしたがると、たいてい頭に鉛弾をぶちこまれる。話がそれたようだ。

とにかくずらつと並んだ違法駐車場の列の中に二分分の空きを見つけた俺は、そこにメルセデスをつつこんだ。地下駐車場に巣食ってるガキ共にも、このメルセデスは効果がある、とは思う。が、万一、やられたら後悔しても始まらない。

ガキがいちばん怖い——そいつは、東側で育った俺がよく知っていることだ。ガキには、スジも金も通用しない。奴らの痛めつけ方には、適当がない。適当を覚えるのは、十五を過ぎて、どこかの組に入ってからだ。

だから十五以下のガキに囲まれたら、俺は逃げることにしている。一二人ふちのめしたところで、何の意味もないからだ。

相手が自分より強いかどうか、自分が怪我したら痛いめにあう——そんなことすら考えずにガキはかかってくる。

約束の時間は七時だった。

時間を聞いたとき、俺は相手は、プロかセミプロだと思った。

午後七時、西新宿駅は、人で溢れかえる時間だ。勤め帰りの連中が、買い物やちよいと

したお楽しみに、東新宿の入口あたりをうろつくにはちょうどいい時間帯だからだ。

西新宿駅の裏口をできれば、そこはもう東新宿の入口だ。旧明治通りと旧靖国通りの交差点あたりまでなら、素人でもお遊びができる東新宿ゾーンだ。

西側の住人向けにガイドブックもでている。安くてうまい飯屋や若くて危い女たちを楽しめる。

それより奥、歌舞伎町あたりになると、遊びもどぎつくなるが危険も倍になる。財布はふたつもっていった方が安全だ。

さらにそれから先、大久保一帯となると、東側の人間のための遊び場だ。顔つきと服装でわかる西側の人間には、絶対に入れない。

また話がそれちまった。

なぜ俺が、相手をプロかセミプロと読んだか、という理由をいわなけりゃいけないかった。まず人の多さがある。奴らは、俺の依頼人が警察に届けているかどうかかわからない。警察が動いたとしても、この人通りの中で、奴らをパクるのはたいへんだ。

特にこの一、二年、人ごみの中での犯人逮捕に警察は神経を尖らせている。暴走した犯人が警察官と撃ちあいをやらかし、無関係な通行人を巻き添えにする事件が多いからだ。

今年に入ってからだけでも、十五人近くの通行人が、警察の逮捕の巻き添えをくって死んでいる。

警察は、通行人を殺したのは皆、犯人側の発砲した弾丸だと発表しているが、おそらく

半分近くは、警官の撃った弾丸にちがいないと、俺は思っている。

その証拠に、警察は、身代金目的の誘拐に介入するのを嫌がりはじめている。金さえ払えば、誘拐された人間は戻るのだし、警察が入るには、身代金の受け渡しの瞬間以外ありえない。金を受けとった犯人が、東側の街に逃げこんでしまえば、よほどの幸運が警察にない限り、逮捕は不可能だからだ。

犯人はそれを見こして、身代金の受け渡しを、夕方の最も人での多い西新宿駅と指定してきたのだ。

たとえ身代金を運んでいるのが俺ではなく、刑事だとしても犯人には手も足もだせないだろう。

ちよつとでもつかまえようとするそぶりを犯人に見せたら、この人ごみの中で銃を乱射される可能性がある。

俺はメルセデスを降りたつと、助手席から強化プラスチックのアタッシュケースをとりだした。中には現金で五千万が入っている。

五千万は、今年の身代金の「相場」だ。去年までは四千万だったのが、いつきに今年に入って値上がりした。理由は、薬の値上がりだ。

薬が値上がりし、結果、薬を吸っている連中が扱う品すべてが値上がりした。銃、弾丸、違法無線機、違法ポルノ、インフレの波が暗黒街に押しよせた、というわけだ。

この続きは、書籍でお楽しみください。

◎注意

本作品の全部または一部を無断で複製、転載、改竄、公衆送信すること、および有償無償に拘らず、本データを第三者に譲渡することを禁じます。

個人利用の目的以外での複製等の違法行為、もしくは第三者へ譲渡をしますと著作権法、その他関連法によって処罰されます。